

高次脳機能障害支援養成研修カリキュラム

＜基礎研修＞	<p>◆対象：全ての障害福祉サービスの新人・若手職員等</p> <p>◆研修のねらい：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害福祉サービスの対象となる高次脳機能障害者について知る。 ・ 高次脳機能障害者の障害特性を理解し、日常的な支援での対応方法を習得する。
--------	---

科目	時間(分)	内容
I 講義	360	
高次脳機能障害とは	40	高次脳機能障害の定義
高次脳機能障害の診断・評価	40	高次脳機能障害の診断、症状、神経心理学的評価
病院で行うリハビリテーション	40	医学的リハビリテーション、医療福祉連携
失語症とコミュニケーション支援	40	失語症と具体的対応方法
制度利用	40	障害者総合支援法に基づくサービス、障害者手帳制度等
相談支援	40	高次脳機能障害者への支援における情報収集・アセスメント
自立訓練	40	自立訓練（機能訓練・生活訓練）における高次脳機能障害者への支援
復職・就労移行支援	40	就労支援施策、高次脳機能障害者への就労支援のポイント
生活と支援の実際	40	生活支援の場における支援のプロセス、支援方法
II 演習	360	
障害特性の理解－症状のみかた	90	検査、評価結果の理解と支援への活用
障害特性に応じた支援	90	高次脳機能障害者への支援における情報収集・アセスメントの事例を通じた理解
自立訓練の実際	90	自立訓練（機能訓練・生活訓練）における支援の事例を通じた理解
復職・就労移行支援	90	医療機関・就労支援機関における支援の事例を通じた理解

<p><実践研修></p>	<p>◆対象：サービス管理責任者や相談支援専門員などの、高次脳機能障害者支援の経験者等</p> <p>◆研修のねらい：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害特性や背景を多角的に捉え、包括的な支援の視点を学ぶ。 ・ 多職種連携（チームアプローチ）の重要性を理解する。 ・ 高次脳機能障害者の支援の短期的な方向性（個別支援計画等）を立てることができるようになる。
---------------------	---

科目	時間（分）	内容
I 講義	360	
地域の支援体制	40	地域における高次脳機能障害の支援体制
認知症・発達障害との共通点と相違点	40	認知症及び発達障害との共通点と相違点の理解
小児期における支援	40	小児期発症の高次脳機能障害の特徴、復学支援
長期経過とフォローアップ	40	各ライフステージにおける高次脳機能障害の特徴、支援
チームアプローチの重要性	40	高次脳機能障害者支援における多職種連携・地域連携
家族（きょうだい）支援・当事者家族会の活動	40	高次脳機能障害者家族支援の必要性和支援の視点
コミュニケーション支援	40	失語症・高次脳機能障害によるコミュニケーション障害の理解
支援の実践的な枠組みと記録	40	支援の実践的な枠組み・プロセス/アセスメントと支援の手順書/記録方法
自動車運転再開支援	40	高次脳機能障害者の自動車運転支援に関連する法制度、運転評価、課題や留意事項の理解
II 演習	360	
障害特性の理解と対応方法	180	高次脳機能障害者の心理と対応方法の理解/障害特性に基づくアセスメントと対応方法
環境調整による支援と記録に基づく支援の評価	180	環境調整の考え方と方法/記録の収集と分析

【実践編講義 01A】障害特性に応じた支援・地域の支援体制

科目	テキスト	時間
障害特性に応じた支援・地域の支援体制	PowerPoint スライド	40 分 (講義02Aと合わせて)
研修のねらい		
地域における高次脳機能障害の支援体制について理解する。		
研修内容		
千葉県の活動地域での支援体制について 支援拠点機関等が行う事業内容 社会資源（保健・医療・福祉・当事者団体等）の情報		

ライフステージに応じた支援
【実践編講義 02A】小児期における支援

科目	テキスト	時間
ライフステージに応じた支援	PowerPoint スライド	40 分 (講義01Aと合わせて)
研修のねらい		
小児期発症の高次脳機能障害の特徴、症状と対応方法を理解する。子どもの社会復帰先である学校との連携や家族支援について理解する。		
研修内容		
小児期における支援 ・ 小児高次脳機能障害の特徴 ・ 症状と対応方法 ・ 復学支援（学校との連携） ・ 家族支援		

【基礎編演習01A】障害特性の理解 —症状の見方—

【実践編演習01A】障害特性の理解と対応方法

科目	テキスト	時間
当事者・家族からのメッセージ	PowerPoint スライド	60分

研修のねらい

・高次脳機能障害の当事者・家族からの実体験(生の声)を直接聞くことで、生活上における高次脳機能障害の特性を理解する。また、当事者・家族の様々な思いや考えを知る。また、どのような環境調整や工夫を実際の生活から学ぶ。

研修内容

障害福祉サービスを利用している(利用していた)当事者1名、家族1名にインタビュー形式で、それぞれの思いや考え、環境を聞いていく。その中で、障害特性を学ぶ

【実践編演習01B】障害特性の理解と対応方法

【実践編演習02A】環境調整による支援と 記録に基づく支援の評価

科目	テキスト	時間
当事者・家族の方へのメッセージ	PowerPoint スライド	30分

研修のねらい

- ・当事者・家族の実体験を聞いたことでの意見や考え、感想を言語化し、他参加者と共有することで、自身の価値観形成の一助とする。
- ・環境調整による支援や工夫など、実体験から学ぶ。
- ・自身の支援について振り返ったり、今後の支援の在り方について考えたりするきっかけとする。
- ・当事者・家族に向け、ポジティブなメッセージを伝える。

研修内容

1. グループ内で、それぞれの参加者が付せんに「当事者・家族の実体験を聞いての気づき、意見・考え・感想」を書き出し、共有する。
2. 付せんにも書いた内容を当事者・家族向けのメッセージとして、1枚の用紙にまとめる。
3. それぞれのグループから「意見・考え・感想」を発表し、共有する。
(スタッフから当事者・家族に用紙をお渡しする)